

美風

修学旅行

小学校生活の一大イベント。5月8日(火)・9日(水)の二日間、京都・奈良方面への修学旅行に出かけてきました。

【1日目：奈良・京都】

男子39名、女子38名の77名で美和小学校を出発しました。バスの中ではレクリエーション係が考えたクイズやゲームを行い、みんなで楽しく目的地に向かうことができました。また、ガイドさんのお話を聞くときには、質問に挙手で答えたり、自分たちから質問をしたりと学習に対する意欲も感じました。

最初の目的地である奈良公園に到着し、世界最大の木造建築である東大寺大仏殿や大きな大仏を見て歓声が上がりました。昼食場所までは、班別行動を行いました。その後、奈良から京都へ移動して、平等院を見学しました。平等院では、10円玉を片手に実際の建物と見比べながら見学している姿が見られました。伏見稲荷大社では、連なる鳥居の迫力に驚いていました。班別行動をする中で、時間を見て行動しようとする姿が見られ、大変立派でした。それから30分ほど歩いて移動し、東福寺勝林寺で座禅体験をして、お茶をいただきました。和尚さんのお話では「『怒る』と『叱る』は違う。怒るは感情に身を任せて言うこと。叱るはその人のことを思って強く言うこと。家族や先生には叱ってもらっている、今は分からないかもしれないけれど、大人になっていくと言われていた意味が分かってくる。」という言葉いただきました。これからの長い人生の中で、忘れてはいけない言葉としてみなさんの心にしまっておいてください。宿泊地の「ホテル東山閣」では、夕食・友禅染体験などを通して心に残る京都の夜を過ごすことができました。

【2日目：京都】

最初の目的地である三十三間堂に到着し、線香の煙が漂うお堂の中を埋め尽くす合計1001体の仏像を目の前にした子どもたちは、驚きの声が上がりました。次の二条城では「キュッキュッ」と音が鳴るうぐいす張りのろうかを歩きました。続いて見学したのは金閣寺。金色に輝く建物の美しさに目を奪われていました。それから八坂神社に移動をして、京都の古い町並みを見学しながら清水坂まで歩いて行きました。最後の見学地である清水寺では、「健康」「恋愛」「学業」の願いが叶うと言われる音羽の滝で、各々が選んだ水を飲みました。清水坂では、八つ橋などのお土産を班に分かれて買いに行きました。家の人や兄弟、自分に向けてのお土産を真剣に選んでいる姿を見て微笑ましく思いました。

京都や奈良の様々な見学地を巡り、国宝や歴史的な建造物を直接自分の目で見ること、歴史に興味をもったり、何かを感じたりすることができたのではないのでしょうか。さらに男女関係なく、楽しく会話し相手に配慮して行動する姿や自分達でしおりをよく読んで次の行動を理解しようとする姿から、出発前に伝えた「さいこう」のテーマを77人全員が意識している様子が伺えました。そして、この旅でルールや時間を守ることの重要性、人と関わる大切さや温かさや再確認することができました。二日間の修学旅行で学んだことを最高学年としてこれからの学校生活で生かしていけるように、精一杯支援していきたいと思ひます。

【6年担任：今井 稚奈巳 石野 真士】



東ブロック陸上競技会について

4月中旬からゴールデンウィークを挟んで、陸上部は約1か月半の練習に取り組みました。5月30日(木)に、あま市、大治町の小学校全15校が七宝鷹居グラウンドに集まり、東ブロック陸上競技会が行われました。

子どもたちは、壮行会で全校の児童から応援してもらった思いを胸に、選手として練習の成果を十分に発揮することができました。また、自分の競技時間以外には、競技する



選手の応援をテントから一生懸命に行うことができました。その結果、男子は団体で4位、女子は400mリレーの3位と、それぞれの種目で奮闘することができました。一方で、会場のお手伝いとして参加した児童も、暑さに負けず立派に役割を果たすことができました。

この陸上競技会に向けて、4～6年生が「選手になりたい」という強い思いを抱いて、互いに支え合い、切磋琢磨しながら練習を積んできました。その過程では、それぞれに嬉しい思いや辛い思いもあったと思います。その練習を経て選手に選ばれた児童は、選手になれなかった子どもたちの思いを背負って精一杯競技することができ、美和小学校の代表児童として素晴らしい姿を見せることができました。

今回の貴重な経験を今後の学校生活での活躍につなげてもらうとともに、ここにいたるまでにお世話になった家族や友達、顧問の先生に対する感謝の気持ちを大切にしていってほしいと思います。

【体育主任 羽賀 紳泰】

心肺蘇生講習会を開催しました

今年度も、子どもたちが楽しみにしているプールの季節がやってきました。真夏の太陽を浴びながら、冷たい水につかる心地よさは何ものにも代えがたいものです。水泳は、浮力を利用するため関節への負担やけがをすることが少なく、心肺機能を高めることができるため、年齢を問わず誰でも楽しむことができるスポーツです。ただ、水の中の運動ということで、事前の体調管理が十分でなかったり、誤ったプールの使い方をすると命の危険につながる場合があります。



そこで、万一の事故に備え、5月22日(水)、日本赤十字社愛知県支部から講師をお招きし、AEDを使った心肺蘇生講習会を開催しました。全教職員に加え、PTA生活委員の方々も15名参加してくださり、教師とともにグループをつくり、実際の場面を想定しながら実り多い研修を行うことができました。教師や保護者がいざという時の心構えをしっかりと持ち、6月12日(水)から始まる水泳学習を通して、子どもたちがプールの安全な使い方を身につけ、泳ぐことの楽しさを味わい、健康でたくましく成長することを願っています。

【教頭 蜂須賀 辰猪】

